



県議会議員 浅川 力三

# 浅川力三 県政だより

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心の郷土愛」

## 地域住民の皆様の声を政策に！

残暑厳しき折、皆様にはお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

7月に行われた第27回参議院議員選挙は、政権党である自民党にとって大変厳しく残念な結果となりました。自民党が議席を減らし、多党化が進んでしまうという状況下、私たち議員は大いに反省し、原因をしっかりと突き止め、再出発を図っていかねばなりません。

8月9日、私は自民党山梨県連の会長代行として、「今回の選挙は、誠に遺憾な結果となったが、物価高騰に伴う生活苦へのわが党の政策対応が他人事のように映ったことによる県民の厳しい評価の表れと受け止めている。今後は県民の現実に真正面から向き合い、責任ある政策運営に全力を傾注していかねばならない。何より県連活動を牽引する国会議員、県議会議員は、今回の選挙における各種の課題、また、総括の取り纏めに際し多くの党関係者より得られた率直な意見、提言を必ず今後を活かし、党勢挽回に向けて鋭意努力していくことが求められる。」と、自戒を込めつつ選挙の総括を行いました。

一方、今回の選挙は「交流サイト（SNS）の活用」が力を発揮したことや、「多文化共生社会」に対する評価が大きな争点となったと、多くの識者が述べています。「交流サイト（SNS）の活用」は、これからの政策形成や推進に欠かせないことは言うまでもありませんが、一方的な情報発信では、自分の言っていることは正しく、人の意見は聞かないという権威主義的、排他的な考え方に陥ってしまう恐れがあります。

私は、北杜市選出の県議会議員として、これまでも観光業や酪農に携わる方々や、高齢者、若者、女性、子供たちの意見をつぶさにお伺いし、原油価格・物価高騰等への対応や、自然災害への備え、人口減少対策などの課題に対して、解決するための政策の推進に全力を尽くしてまいりましたが、こうした現場主義により、住民の皆様の生の声を政策に反映して発信することがとても大切なことだと、改めて肝に銘じたところで。

「多文化共生社会」については、平成27年2月定例県議会で、外国人の人権を保障するとともに、お互いの文化的違いを認め合い、ともに生きていく多文化共生社会の実現が求められるとして、国に対する「ヘイトスピーチに対する取り組みの充実強化を求める意見書」を採択し、その後「山梨県日韓友好促進議員懇話会」を設立して、大韓民国横浜総領事館と連携しながら、相互の理解を深めるための文化交流や人の交流などの事業を行ってきました。

韓国との文化交流に貢献した浅川伯教・巧兄弟は北杜市の出身です。私は、こうした先人の努力を継承し、お互いの文化的違いを認め合い、ともに生きていく多文化共生社会を実現するため、地道に活動して参ります。これからも、「住民の皆様の声を政策に」をモットーに、議員活動に精進してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



キース・ヘリング中村CEOのご厚意により、日本でも3つしかない馬場の整備が完成し、馬術競技場の完成式典に出席しました。



馬術競技場のサポートクラブの皆様と早朝から場内の整備活動を行いました。



山梨県日韓親善協会 通常総会で開催した日韓国交正常化60周年記念講演会にてご挨拶しました。



日韓の架け橋となった浅川伯教・巧兄弟を忍会に出席し、ご挨拶しました。



日韓国交正常化60周年記念並びにポール・ラッシュ博士来日100周年を記念して美し森にてツツジの記念植樹を行いました。



依田明善氏 長野県議会議員長就任を祝う会にて、長野県阿部守一知事と中部横断自動車と環八ヶ岳について意見交換を行いました。あわせて国、県、議員の皆様とも意見交換を行いました。



八ヶ岳の安全を祈願して多くの皆さまと開山式を行いました。



八ヶ岳の安全を祈願して多くの皆さまと開山式を行いました。



第78回 清里高原つつじ祭りでは、次世代に北杜市の宝を引き継いでもらうため、地域の小学生も参加していただき総勢150人の皆様に500本のつつじの植栽を行っていただきました。



つつじ祭り清里ウォークは約700人の参加者でにぎわい初夏の清里を楽しんでいただきました。

**介護離職者ゼロに向けて「気づく」「つなぐ」「支える」/ ケアラー支援推進パッケージ公表 ①**

知事は、急増する介護需要に対応するための「ケアラー支援推進パッケージ」を公表しました。6月補正予算案の目玉事業の一つで、介護を担う「ケアラー」への支援策を今後本格化させることとしています。昨年度、県が実施した実態調査では、県民の4人に1人がケアラーであることが判明し、支援制度の認知度の低さが浮き彫りとなっています。

県は、この課題を個人や家庭の問題にとどめず、社会全体の構造的課題として捉え、6月補正予算に新規事業を盛り込んだパッケージを策定しています。

パッケージの主な取り組みは以下のとおりです。

**①「気づく」取り組み**

- ・県民への啓発活動に加え、地域に根ざした「ケアラー支援推進員」を養成
- ・企業に対し仕事と介護の両立支援の重要性を訴え、制度の活用を促進

**②「つなぐ」取り組み**

- ・ポッドキャストの活用やスクールソーシャルワーカーを増員し、相談が遅れがちなケアラーを適切に支援
- ・突然の介護に直面した人を支えるための伴走支援体制の構築を検討

**③「支える」取り組み**

- ・介護施設の受け入れを拡充
- ・仕事を持つケアラーに対応するため、休日も相談できる電話窓口を開設
- ・ケアラー同士の交流会を開催

**主要事業**

**1 ケアラー支援事業**

- ケアラー支援推進員養成事業費 4,040千円  
ケアラーが抱える介護などの悩みや不安の解消を図るため、地域において相談窓口や支援制度に関する情報提供を行うケアラー支援推進員を養成する。
- 仕事と介護両立支援事業費 8,075千円  
介護離職を防ぐため、両立支援に対する県内企業の意識や行動の変容を促す取り組みを行う。  
事業内容 経営者・管理職向けセミナー等の開催 ハンドブックの作成
- ポッドキャストを活用した相談・支援継続促進事業費 5,055千円  
介護やひきこもり等困難な問題を抱える人を周囲への相談や適切な支援につなげるため、安心して悩みや思いを発信できるポッドキャスト番組を配信する。

- スクールソーシャルワーカー養成事業費 2,312千円  
不登校や家族の介護など課題を抱える児童生徒等に対する支援体制を強化するため、スクールソーシャルワーカーの増員に向けた研修会を開催する。
- ケアラー伴走支援体制検討会議開催費 445千円  
ケアの発生時から支援機関等につながるまでのきめ細かな伴走支援体制の構築に向けた検討会議を開催する。
- ケアラー相談支援強化事業費 3,300千円  
ケアラーに対する相談体制の強化を図るため、介護支援専門員等による電話相談窓口を土日祝日に開設する。
- ケアラー交流支援事業費 2,398千円  
ケアラーの孤独・孤立を防ぐため、ケアラーへの理解や当事者間の交流促進に向けた取り組みを行う。  
事業内容 シンポジウム、交流会の開催
- ケアラー支援機関連携強化促進事業費 1,061千円  
複雑化・複合化するケアラーの課題に対応するため、支援機関の対応力強化と連携 促進に向けた研修会を開催する。  
(財源：生活困窮者就労準備支援事業費等補助金)

**ケアラーって 「ケアラー」とは心やからだに不調を抱える家族や親族、知人などを、どんな人？ 無償でケア（介護、看病、療育、世話、気づかいなど）している人のことです。**

- 障害のあるこどもの子育て・障害のある人の介護をしている ●健康不安を抱えながら高齢者が高齢者の介護をしている ●仕事と病気の子どもを看病でほかに何もできない ●仕事を辞めてひとり親の介護をしている ●遠くに住む高齢の親が心配で頻りに通っている ●健康不目を離せない家族の見守りなどのケアをしている ●アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族のケアをしている ●障害や病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。 家族に代わり、給いさうだいの世話をしている。 障害や病気のあるまよふだいの世話をしている。 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいはしている。 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。 家事を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。 アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。 がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。



今年も2日間にわたり夏の北杜観光をアピールするキャンペーンを日本橋にて実施。県と市の協力をいただき特産品の販売とともに約1000枚のパンフレットを配布しました。



東京大学鈴木宜弘教授の「農業とエネルギー」の講演を拝聴しました。素晴らしい内容で次回の公演を約束しました。



やまなし観光推進機構の副会長として、通常総会にてご挨拶いたしました。



北杜市高根東小学校の入学式にお招きいただき、祝辞を述べさせていただきました



北杜市立甲陵高校の入学式にお招きいただき、祝辞を述べさせていただきました



北杜高等学校東京同窓会に同窓会長としてお招きいただきご挨拶をさせていただきました



Mt.富士ヒルクライムのウェルカムパーティーにて参加者に歓迎のご挨拶をいたしました。



9,000人超の参加者が、スターターの号砲を合図に一齐にスタートしました。



富士山保全活動のために、Mt.富士ヒルクライムの参加者から集まった300万円を超える寄付金を山梨県知事に手渡しました。



地元の皆さんと、小淵沢下原堰にて現地調査



須玉地区、明野地区の市民の要望に応え、山梨県と北杜市の職員による説明会と盛土規制の現地調査を行いました。



須玉地区、明野地区の市民の要望に応え、山梨県と北杜市の職員による説明会と盛土規制の現地調査を行いました。



長沢の鯉のぼり祭りにて、ご挨拶いたしました。



自転車競技協会の会長として国体予選にて参加する選手たちに激励の言葉を送りました。



山梨県議会の高校生議会にて、北杜高校生による「食北杜」の立派な意見発表に感銘しました。



武川町上三吹の長年の取組である圃場整備事業について、県・市による説明会に参加しました。



高根町長沢地域の141号と箕輪堰の地域の皆様の要望活動に立ち会いました。



山梨県議会私学振興議員懇話会の会長として研修大会にてご挨拶させていただきました。



ますとみ元気会の主催の第8回山奥の廃校でジャズコンサートに声援に駆けつけました。



今年も農業法人コビットの早場米 五百川の5月3日の田植えと8月13日の稲刈りに参加しました。



山梨県猟友会のメンバーとして定期総会にお招きいただき祝辞を述べました。